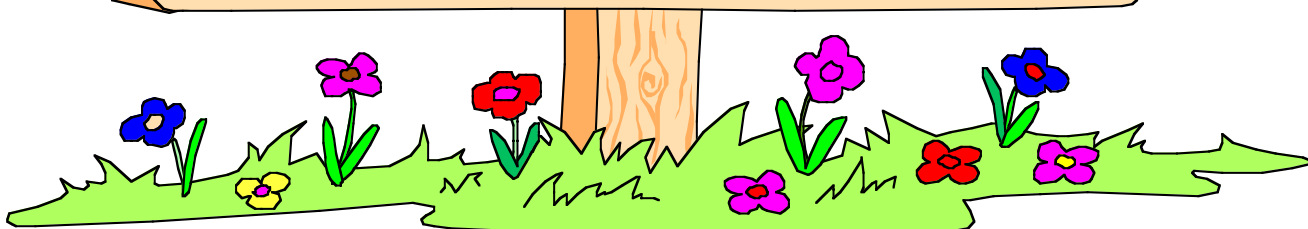


いっしょに 考えてみませんか



洞薬会（北九州地区勤務薬剤師会）
中小病院委員会からのお知らせ

- 中小病院薬剤師資質向上の会
名称変更のお知らせ
- 第19回中小病院懇話会開催のお知らせ
- 薬剤管理指導業務普及のための
新しい試みについて



Vol.2

2000年6月1日発行

●中小病院薬剤師資質向上の会の名称変更について

平成8年4月に、中小病院委員会が発足し、18回を数えた中小病院薬剤師資質向上の会が、平成12年4月より、名称を変更することになりました。

新名称は、

【中小病院懇話会 一より信頼される薬剤師をめざして一】です。

今、薬剤師は、患者さんと向き合った医療の中に身を置いています。医療スタッフに信頼されることはもちろんですが、向かい合っている患者さんに信頼されることがより重要です。そのためには、私達は、薬剤師として、人間としてより質の高いものを目指さなくてはなりません。そういう思いを込めて、会の名称を変更しました。

Let's devote oneself to better the nature of a pharmacist !

一薬剤師としての質をよりよいものにするために、真剣に努力と時間を費やそう！一

中小病院委員会委員一同、この言葉を胸に秘め、この会が充実した会となるよう努力し、企画・運営して行きたいと考えています。

今後とも、中小病院懇話会一より信頼される薬剤師をめざして一をどうぞよろしく願います。

●第19回中小病院懇話会開催のお知らせ

来る、平成12年7月6日(木曜日)、九州厚生年金病院第3カンファレンスルームにて、『在宅医療の中での薬剤師の役割』と題して、香月中央病院の森友英治先生にご講演をお願いしています。

在宅での薬剤管理指導業務は、病棟でのそれとは大きく異なります。患者さんにとって病棟とは、仮住まいという意味合いが強く、病棟業務の受け入れについて受動的にならざるを得ません。しかし在宅でのそれは、患者さんのご自宅にお伺いするので、能動的、積極的な受け入れという環境が確実に存在します。ご自宅にお伺いし、ご自宅にあげていただくには、薬剤師が患者さんに求められない限り、信頼されない限り、不可能といっても過言ではありません。

今回、在宅医療チームの一員として活躍されている森友先生に、患者さんに信頼され、満足のいく指導が出来るまでの苦難の道を紹介して頂きます。その中で、信頼される薬剤師を目指す私たちに、多くの道標を示していただけることと思います。

是非参加され、日々の業務の参考にされてください。



●薬剤管理指導業務普及の為の新しい試みについて

現在、薬物療法に大きな関わりを持つ病院薬剤師には、医薬品の適正使用の観点から、患者さんを対象とした業務展開や経済性を考慮することが強く望まれるようになってきています。日本病院薬剤師会では、平成13年に予定される『病院薬剤師配置基準の見直し』に際して、医療に於ける薬剤師の重要な役割を十分に認識して頂くため、患者さんに直接サービスする業務の充実を急務とし、会員施設の薬剤管理指導業務の完全実施を目標に様々な活動を行うことが決定されました。薬剤管理指導業務の完全実施を実現させることは、薬剤師が評価を受け、薬剤師配置基準の見直し、または診療報酬上の適正評価につながるものと考えられます。

その一貫として、日病薬中小病院委員会では、一つの様式案を作成し、日病薬誌 Vol.35, No.11(1999), 132pで紹介すると共に、日病薬のホームページの中で、Microsoft Excelを用いて電子化したファイルを、ダウンロード可能としています。(図1)

このような流れを受けて、洞薬会中小病院委員会では、北九州地区の300床以下の施設で、薬剤管理指導業務の届出を行っていない施設を対象に、届出から実施、請求までの流れについて、具体的な勉強会を開催したいと考えています。

この勉強会の中では、届出に関する具体的な疑問をお受けすると共に、様々なご相談もお受けします。

また、届出をした後も、実際に行う業務内容に関して、各施設の特徴に即し、出来る限りサポートしていきたいと考えています。

今回は、より多くの施設のみなさんに参加していただくため、小倉地区、八幡地区、行橋地区の3カ所で開催する予定です。

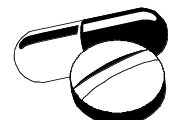
この勉強会が、より多くの施設の薬剤師の皆さんにとって、薬剤管理指導業務完全実施への近道となることを心より希望しております。

勉強会の名称や具体的な日程等の詳細については、後日、対象となる施設の薬局へご連絡致しますので、ふるってご参加ください。



図1 日病薬ホームページでのダウンロード画面

日病薬ホームページ URL : <http://www.jshp.or.jp/>
ID : jshp パスワード : byoyaku



また、前述しました日病薬ホームページに掲載されています様式（薬歴管理表、薬剤管理表、服薬指導記録、退院時服薬指導記録）については、洞薬会中小病院委員会でもダウンロードしておりますので、必要な方は、中小病院委員までお気軽にお申し出下さい。

私たち病院薬剤師の使命は、その職能を発揮することにより「医薬品適正使用の推進を通じて医療の質の向上に寄与すること」にあります。薬剤管理指導業務を、入院されている全ての患者さんに実施することが、国民の健康な生活を確保するという、薬剤師の任務の遂行につながるのではないのでしょうか。

最後に、1999年10月3日、大阪・薬業年金会館で行われた『薬剤管理指導業務完全実施推進大会』で決議された決議文を掲載します。

薬剤管理指導業務を行われていない施設の方は、これを機会に、是非とも取り組んでいただきたいと思います。

「決議文」（薬剤管理指導業務完全実施推進大会）

私たち病院薬剤師の使命は、その職能を発揮することにより、「医薬品適正使用の推進を通じて医療の質の向上に寄与すること」にあります。

そのためには、服薬指導、薬歴管理、医薬品情報提供を主体とした「薬剤管理指導業務」がもっとも重要な手段であり、病院薬剤師として、積極的に取り組むべき業務であります。

このたび、日本病院薬剤師会は本大会の総意をもって「薬剤管理指導業務を病院薬剤師の中心的業務」と位置づけ、すべての病院において、すべての患者さんを対象とする、その「完全実施」を目指し、最大限の努力をする決意をしましたので、ここに表明いたします。

「完全実施」こそが、「患者さんをはじめ医療現場や世間に見える、ものの言える病院薬剤師」の第一歩となり、国民の利益につながるものと確信いたしております。

以上、本大会の名をもって決議いたします。

平成11年10月3日

薬剤管理指導業務完全実施推進大会

編集：洞薬会中小病院委員会

池友会小文字病院	山崎信子
北九州市立門司病院	片山 巖
北九州市立総合療育センター	井上和啓
三菱化学黒崎事業所附属病院	池田美幸
町立芦屋中央病院	筒井浩陽
香林会香月中央病院	森友英治

本誌の内容へのご意見、ご質問は、北九州市立総合療育センター 井上和啓（☎:922-5596）または、町立芦屋中央病院 筒井浩陽（☎:222-2931）までお寄せ下さい。